

中小企業景気動向調査レポート (調査期間:令和2年9月1日～7日)

(令和2年7月～9月実績、令和2年10月～12月予想)

令和2年10月発行
西尾信用金庫
お客さま支援部

回答企業数

製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	合計
304	196	56	144	73	44	817

<全体の景況>

当期業況判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R2/6	-68.2	-50.0	-75.9	-41.8	-68.9	-18.2	-60.1
R2/9	-63.4	-43.7	-54.7	-33.6	-38.9	-25.0	-48.6
R2/12予想	-56.1	-41.8	-54.7	-30.5	-37.5	-22.7	-44.6

当期売上額判断D.I.

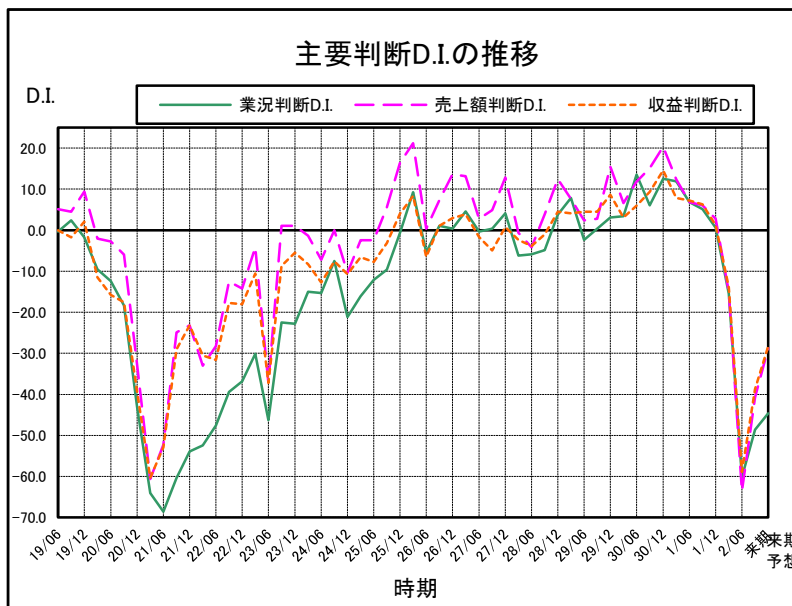
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R2/6	-71.0	-49.4	-74.1	-50.9	-68.6	-25.0	-63.6
R2/9	-46.2	-43.8	-40.0	-36.4	-34.2	-25.0	-40.8
R2/12予想	-28.1	-39.7	-33.3	-27.8	-26.0	-18.2	-28.8

当期収益判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R2/6	-65.6	-51.9	-69.0	-45.6	-64.7	-27.3	-58.9
R2/9	-42.6	-44.6	-36.4	-35.7	-32.9	-25.0	-38.7
R2/12予想	-28.1	-40.5	-32.1	-26.4	-23.9	-18.2	-28.3

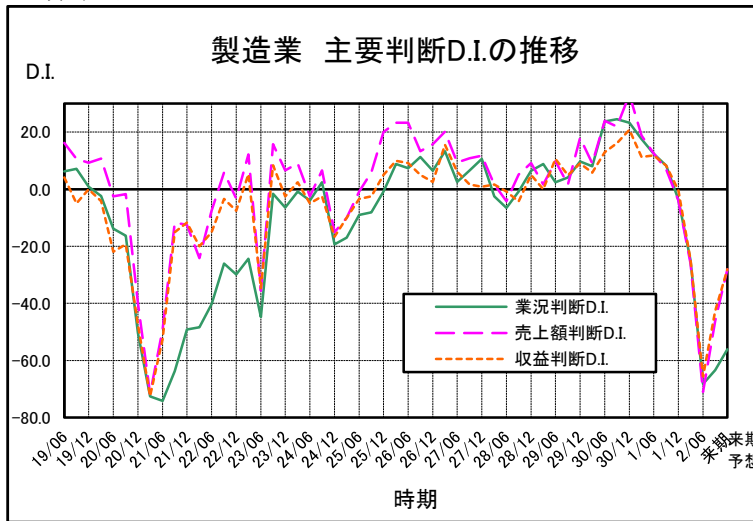
・令和2年9月期の当期業況判断D.I.は▲48.6(前期比+11.5)、当期売上額判断D.I.は▲40.8(同+22.8)、当期収益判断D.I.は▲38.7(同+20.2)と新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前回から、景況感、業況ともに改善した。

・来期については、業況判断D.I.は▲44.6(当期比+4.0)、売上額判断D.I.は▲28.8(同+12.0)、収益判断D.I.は▲28.3(同+10.4)と改善すると予想されるが、依然としてマイナスとなっている。



*判断D.I.は各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業構成比を引いて求めている。

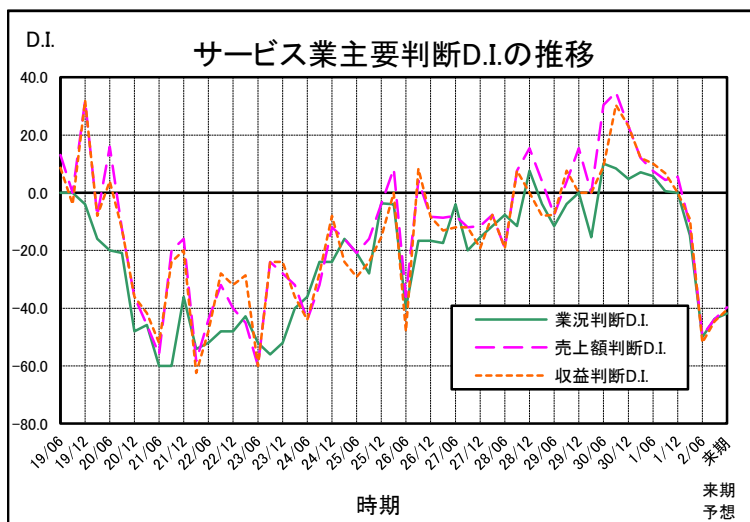
< 業種別 >



製造業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R2/6	-68.2	-71.0	-65.6
R2/9	-63.4	-46.2	-42.6
R2/12予想	-56.1	-28.1	-28.1

< 製造業 >

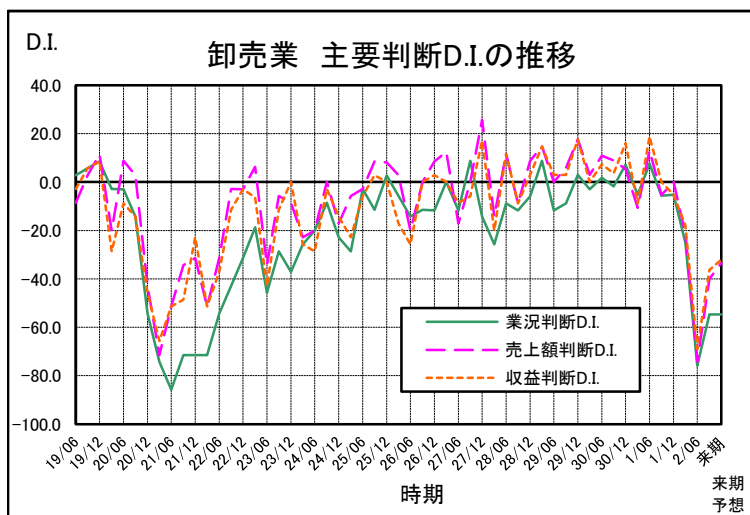
- ・当期業況判断D. I. は▲63.4(前期比+4.8)、当期売上額判断D. I. は▲46.2(同+24.8)、当期収益判断D. I. は▲42.6(同+23.0)と景況感、業況ともに改善した。
- ・来期については、業況判断D. I. は▲56.1(当期比+7.3)、売上額判断D. I. は▲28.1(同+18.1)、収益判断D. I. は▲28.1(同+14.5)と景況感、業況ともに改善が予想される。
- ・当面の重点経営施策として“販路を広げる”を挙げる企業が最も多く57.9%、次いで、“経費を節減する”を挙げる企業が57.6%、そして“新製品・技術を開発する”を挙げる企業が14.5%であった。



サービス業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R2/6	-50.0	-49.4	-51.9
R2/9	-43.7	-43.8	-44.6
R2/12予想	-41.8	-39.7	-40.5

< サービス業 >

- ・当期業況判断D. I. は▲43.7(前期比+6.3)、当期売上額判断D. I. は▲43.8(同+5.6)、当期収益判断D. I. は▲44.6(同+7.3)と景況感、業況ともに改善した。
- ・来期については、業況判断D. I. は▲41.8(当期比+1.9)、売上額判断D. I. は▲39.7(同+4.1)、収益判断D. I. は▲40.5(同+4.1)と景況感、業況ともに改善が予想される。
- ・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く52.3%、次いで“販路を広げる”を挙げる企業が41.6%、そして“宣伝・広告を強化する”が16.2%であった。

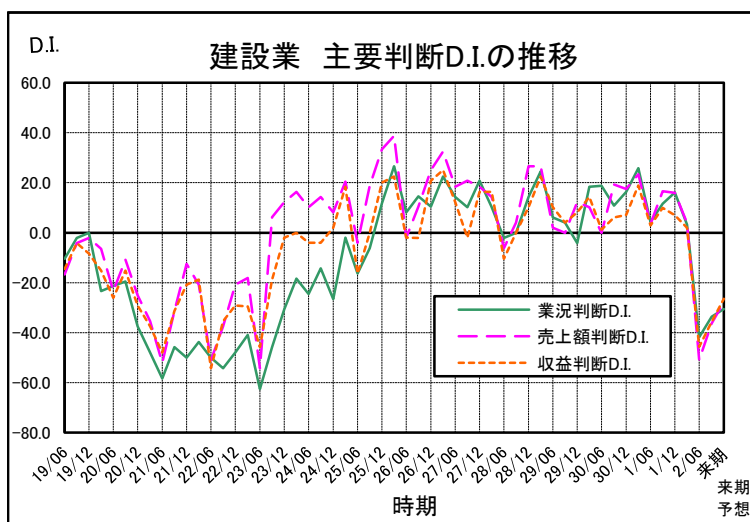


卸売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R2/6	-75.9	-74.1	-69.0
R2/9	-54.7	-40.0	-36.4
R2/12予想	-54.7	-33.3	-32.1

<卸売業>

・当期業況判断D.I.は▲54.7(前期比+21.2)、当期売上額判断D.I.は▲40.0(同+34.1)、当期収益判断D.I.は▲36.4(同+32.6)と景況感、業況ともに改善した。

・来期については、業況判断D.I.は▲54.7(当期比±0)、売上額判断D.I.は▲33.3(同+6.7)、収益判断D.I.は▲32.1(同+4.3)と景況感は横ばい、業況感は改善が予想される。



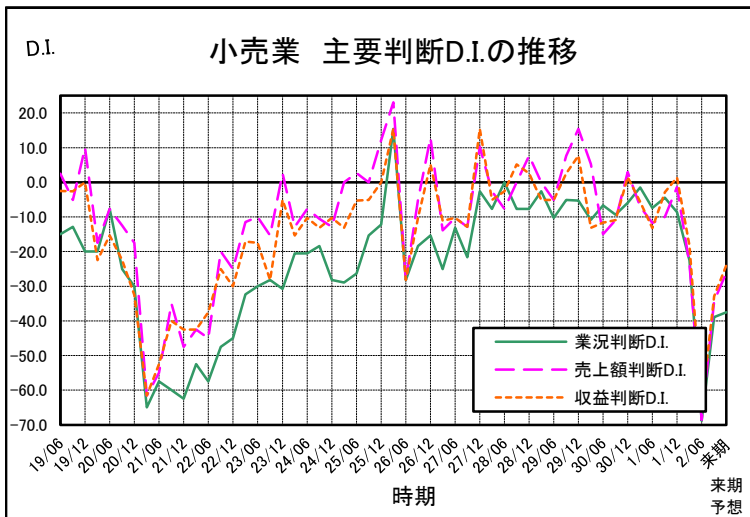
建設業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R2/6	-41.8	-50.9	-45.6
R2/9	-33.6	-36.4	-35.7
R2/12予想	-30.5	-27.8	-26.4

<建設業>

・当期業況判断D.I.は▲33.6(前期比+8.2)、当期売上額判断D.I.は▲36.4(同+14.5)、当期収益判断D.I.は▲35.7(同+9.9)と改善した。

・来期については、業況判断D.I.は▲30.5(当期比+3.1)、売上額判断D.I.は▲27.8(同+8.6)、収益判断D.I.は▲26.4(同+9.3)と景況感、業況ともに改善が予想される。

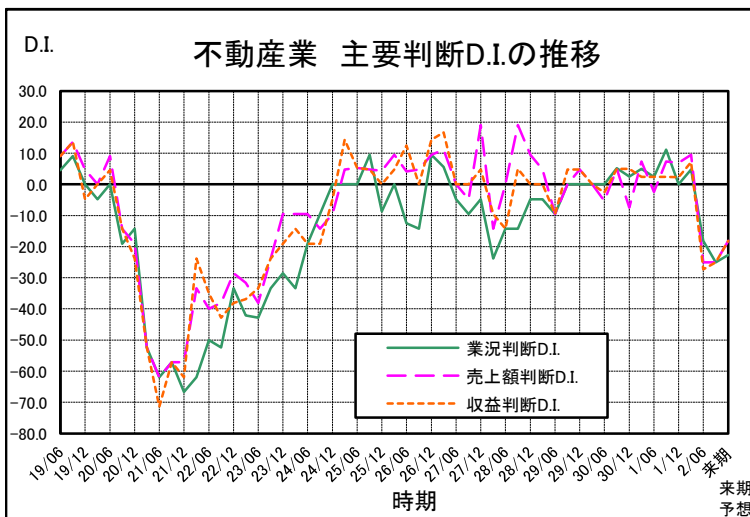
・当面の重点経営施策として“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く44.1%、次いで、“販路を広げる”を挙げる企業が42.7%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が25.2%であった。



小売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R2/6	-68.9	-68.6	-64.7
R2/9	-38.9	-34.2	-32.9
R2/12予想	-37.5	-26.0	-23.9

<小売業>

- ・当期業況判断D.I.は▲38.9(前期比+30.0)、当期売上額判断D.I.は▲34.2(同+34.4)、当期収益判断D.I.は▲32.9(同+31.8)と景況感、業況ともに改善した。
- ・来期については、業況判断D.I.は▲37.5(当期比+1.4)、売上額判断D.I.は▲26.0(同+8.2)、収益判断D.I.は▲23.9(同+9.0)と景況感、業況ともに改善が予想される。



不動産業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R2/6	-18.2	-25.0	-27.3
R2/9	-25.0	-25.0	-25.0
R2/12予想	-22.7	-18.2	-18.2

<不動産業>

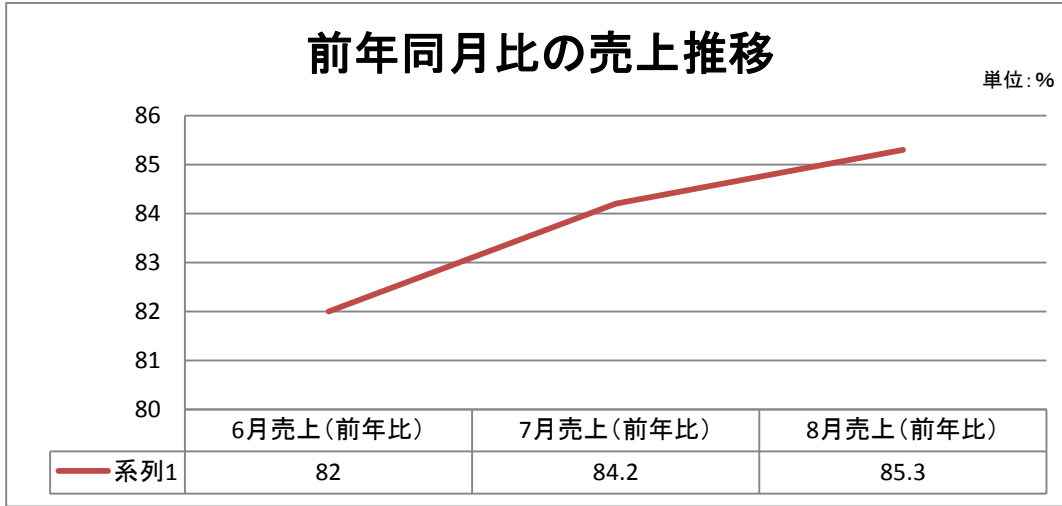
- ・当期業況判断D.I.は▲25.0(前期比-6.8)、と悪化し、当期売上額判断D.I.は▲25.0(同±0)と横ばい、当期収益判断D.I.は▲25.0(同+2.3)と改善した。
- ・来期については業況判断D.I.は▲22.7(当期比+2.3)、売上額判断D.I.は▲18.2(同+6.8)、収益判断D.I.は▲18.2(同+6.8)と景況感、業況ともに改善が予想される。

【新型コロナウイルス感染症に関するアンケート（景気動向調査）】

再び新型コロナウイルスの感染者数が増加し、愛知県においては8月6日（木）に2度目の緊急事態宣言が発出され、今後においても事業者の皆さまへ影響を及ぼすことが予測されます。
つきましては、貴社の事業活動への影響等についてお教えてください。
※本アンケートは、当金庫の今後の支援活動に向けて参考とさせていただきます。
是非、ご回答に協力いただけますようお願い致します。

問1. 最近3か月の業況と12月までの見通しについてお教えてください。

①6月、7月、8月における貴社の売上高の前年同月比をお教え下さい。



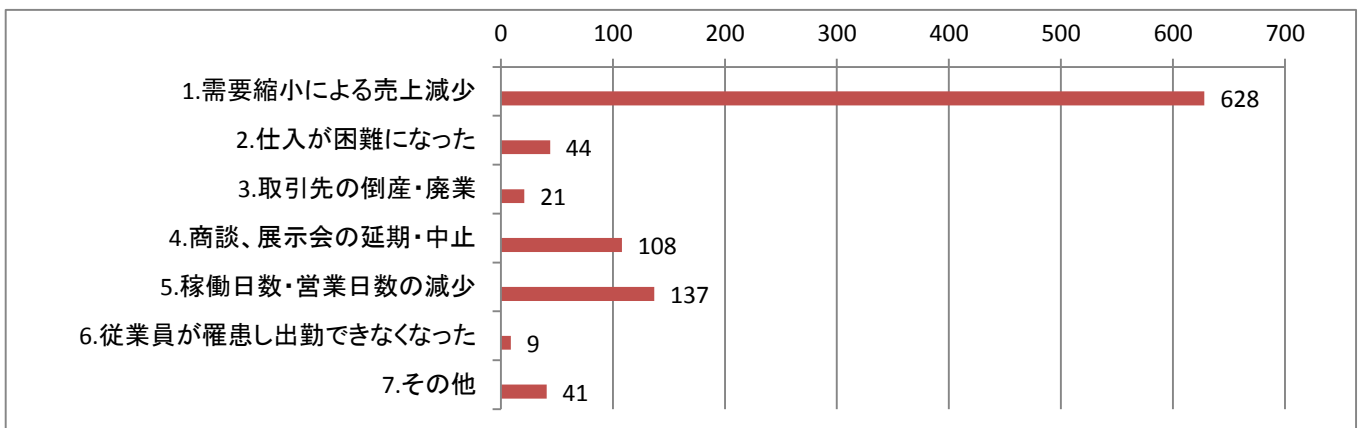
②9月から12月末までの売上の「見通し」をお教え下さい。

回答：前年同月比83.9%（全回答平均）

<最近3か月の業況と12月までの見通しについて>

回答を得た全先の平均値は、6月は前年同月比82.0%、7月84.2%、8月85.3%となった。
また、9月から12月までの売上の見通しは前年同月比83.9%となった。

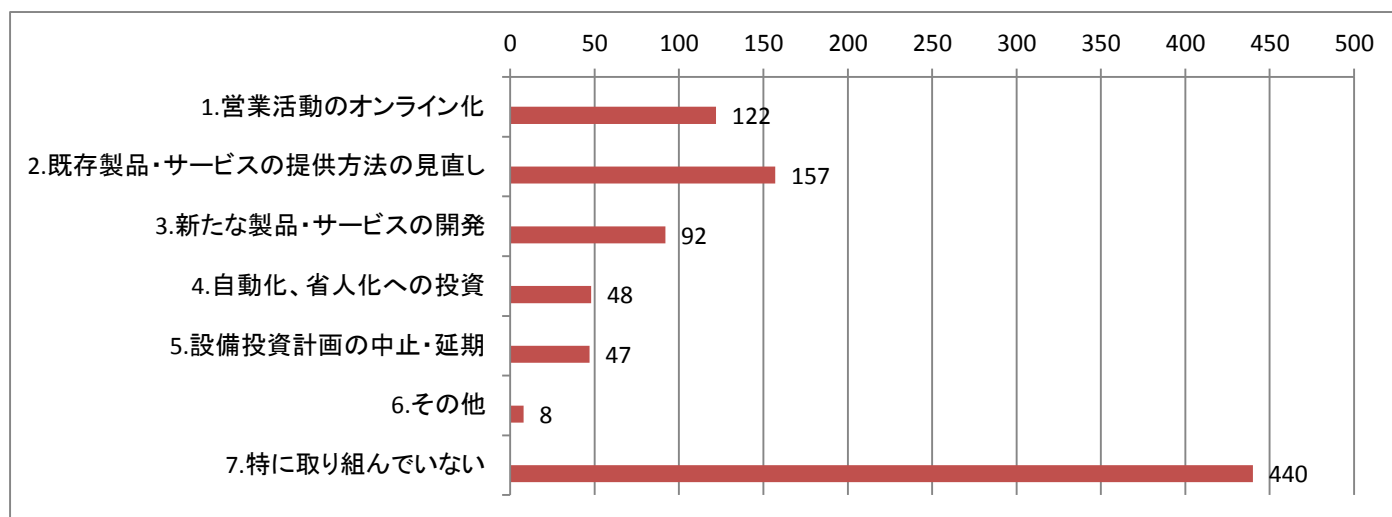
問2. 現時点で新型コロナウイルス感染症が貴社に与える影響について、あてはまるものを次の1～7の中からお選びください。（複数回答可）



<新型コロナウイルス感染症が貴社に与える影響について>

新型コロナウイルス感染症が与える影響について、「1.需要縮小による売上減少」が最も多く628社、次いで「5.稼働日数・営業日数の減少」が137社、「4.商談、展示会の延期・中止」が108社、「2.仕入が困難になった」が44社、「7.その他」が41社、「3.取引先の倒産・廃業」が21社、「6.従業員が罹患し出勤できなくなった」が9社であった。

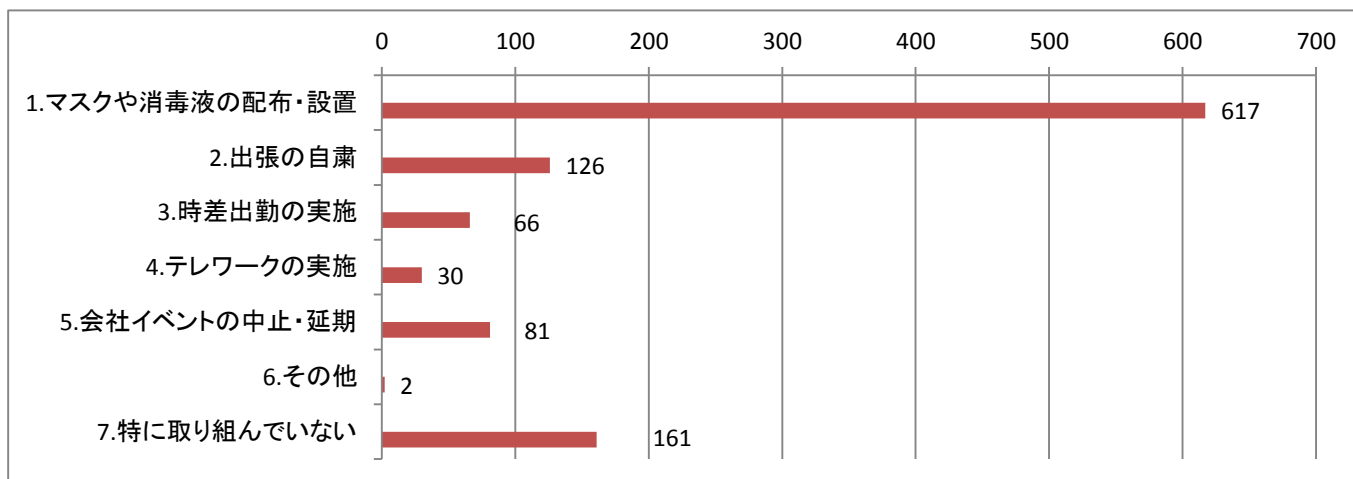
問3. 現在、貴社が取り組んでいる「事業活動面」での対策について、あてはまるものを次の1～7の中からお選びください。（複数回答可）



<事業活動面での新型コロナ対策について>

事業活動面での新型コロナ対策について、「7.特に取り組んでいない」が最も多く440社、次いで「2.既存製品・サービスの提供方法の見直し」が157社、「1.営業活動のオンライン化」が122社、「3.新たな製品・サービスの開発」が92社、「4.自動化、省人化への投資」が48社、「5.設備投資計画の中止・延期」が47社、「6.その他」が8社であった。

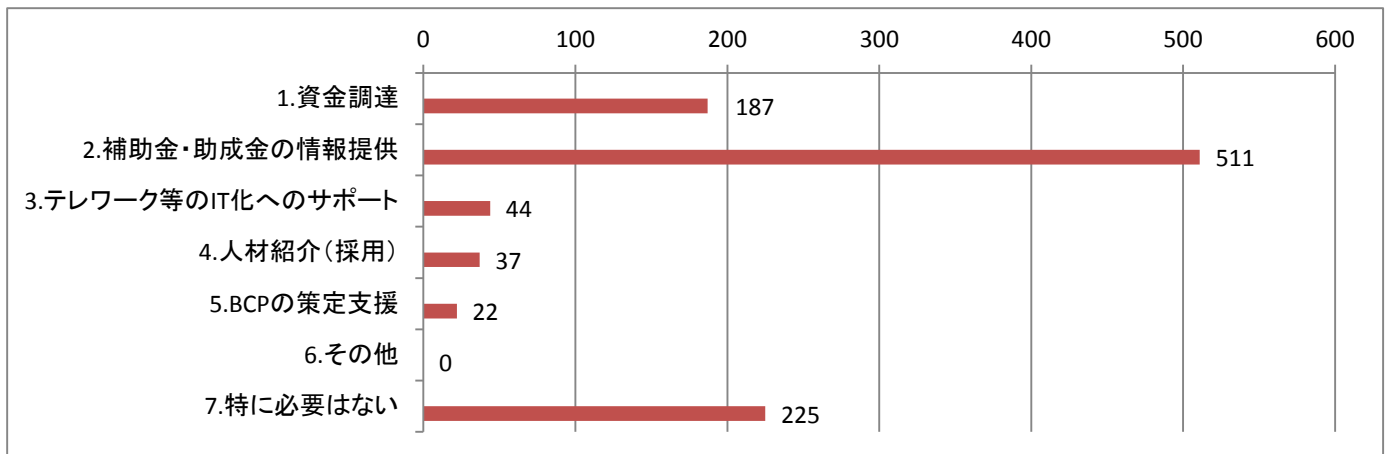
問4. 現在、貴社が取り組んでいる「労務管理面」での対策について、あてはまるものを次の1～7の中からお選びください。（複数回答可）



<労務管理面での新型コロナ対策について>

労務管理面での新型コロナ対策について、「1.マスクや消毒液の配布・設置」が最も多く617社、次いで「7.特に取り組んでいない」が161社、「2.出張の自粛」が126社、「5.会社イベントの中止・延期」が81社、「3.時差出勤の実施」が66社、「4.テレワークの実施」が30社、「6.その他」が2社であった。

問5. 今後、貴社が新型コロナウイルス感染症に対応するためにご関心のある支援策を次の1～7の中からお選びください。（複数回答可）



<新型コロナウイルス感染症対応の各支援策について>

関心のある新型コロナウイルス感染症対応の支援策について、「2.補助金・助成金の情報提供」が最も多く511社、次いで「7.特に必要はない」が225社、「1.資金調達」が187社、「3.テレワーク等のIT化へのサポート」が44社、「4.人材紹介(採用)」が37社、「5.BCPの策定支援」が22社であった。